

## 日本包括歯科臨床学会沿革

筒井昌秀先生と筒井照子先生が主宰する筒井塾の、顎口腔の炎症の要素、力の要素を包括的な観点で診断し、最小の侵襲で最大の治療効果をあげることを目的とした、包括歯科臨床のコンセプトを継承する JACD と咬合療法研究会が 2012 年に合併し、日本包括歯科臨床学会が設立されました。

振り返りますと包括歯科臨床の習熟を目的として 1988 年に筒井塾が発足し、受講後に両先生の臨床に対して共感した先生方が集い、1991 年に JACD というスタディグループが結成されました。

また、筒井照子先生が提唱された生理学的咬合論の臨床応用を学ぶ筒井塾咬合コースが 1997 年にスタートし、その後 2003 年に受講後のフォローアップを目的として咬合療法研究会が創立されました。

両先生のご指導をいただきながら、主に JACD では炎症のコントロールを中心に、咬合療法研究会では力のコントロールを中心とした研鑽を重ねてきました。JACD は設立 20 周年、咬合療法研究会は 10 周年の節目を迎え、会員数も JACD250 名、咬合療法研究会 650 名を超える規模に至りました。

1970	九州歯科大学卒業	筒井昌秀 永富(旧姓)照子	
		九州歯科大学矯正学教室 (筒井昌秀 1973-75、永富照子 1970-75)	
1975	筒井歯科医院開業		
1980	筒井照子学位取得		
1988	筒井塾	歯牙移動講習会開講	
1990		包括歯科診療コース開講 (筒井塾)	
1991		<b>JACD 結成</b>	
1996		歯周外科、インプラントコース開講	
1997			咬合療法コース開講 (筒井塾)
1999			東京コース開講 (筒井塾)
2001	筒井昌秀学位取得	形成・印象コース開講 (筒井塾)	
2003	『包括歯科臨床』出版		大阪咬合療法コース (筒井塾)
			<b>咬合療法研究会設立</b>
2004		矯正コース開講 (筒井塾)	東京、大阪、九州支部発足
2005			技工支部発足
2006			北海道支部発足
2007			衛生支部発足
2008	筒井塾法人化	包括歯科臨床コース開講 (筒井塾)	
2010	『顔・からだ・バランスケア』出版	『態癖一力のコントロール』出版	
2011	筒井歯科医院新築移転セミナー室開設		
2012		<b>日本包括歯科臨床学会設立</b>	12.15-16 設立総会 (ベルサール飯田橋・東京)
2013	8.31-9.1	第 2 回総会 (神戸国際会議場・神戸)	
2014	8.23-24	第 3 回総会 (JR 九州ホール・福岡)	
2015	8.29-30	第 4 回総会 (お茶の水ソラシティカンファレンスセンター・東京)	
		『包括歯科臨床Ⅱ 顎口腔機能の診断と回復』出版	日本包括歯科臨床学会誌創刊
2016	8.27-28	第 5 回総会 (神戸国際会議場・神戸)	
2017 (予定)	9.2-3	第 6 回総会 (電気ビルみらいホール・福岡)	

## 日本包括歯科臨床学会役員一覧

名誉顧問	(故)筒井昌秀	理 事	三橋哲哉	坂口雄一	吉田 健
顧 問	筒井照子		小川晴也	倉田芳孝	飯田光穂
会 長	横田 誠		田中茂樹	藤田亨	酒井和正
副会長	国賀就一郎		浅尾 武	白石和仁	齋藤 肇
専務理事	樋口琢善	増田長次郎	倉田 豊	大村祐進	岩崎睦子
常任理事	筒井祐介			常深伸介	坂田輝之
	中島稔博	木下俊克	田中憲一	矢野尚一	小川じゅん
	西林 滋	樋口克彦	任 順興	(会計監査を兼ねる)	
	桃園 貴功	浜野 純也	小松智成	相談役	平野 健一郎
	大石 恒子	青木 四郎	重田 幸司郎	委員会	上田 秀朗
	矢守 俊介	藤原 康則	藤田 幸彦		総務委員会, 学術委員会, 広報委員会,
	大山 繁幸				会誌編集委員会, 総会準備委員会